

鹿児島県

長期入院精神障害者の 地域移行推進に向けて

鹿児島県では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を活用して養成したピアサポーターを、一般相談支援事業所等で地域移行支援スタッフとして活用し、1年以上の長期入院精神障害者の地域移行支援を推進している。

1 県又は政令市・特別区の基礎情報

鹿児島県



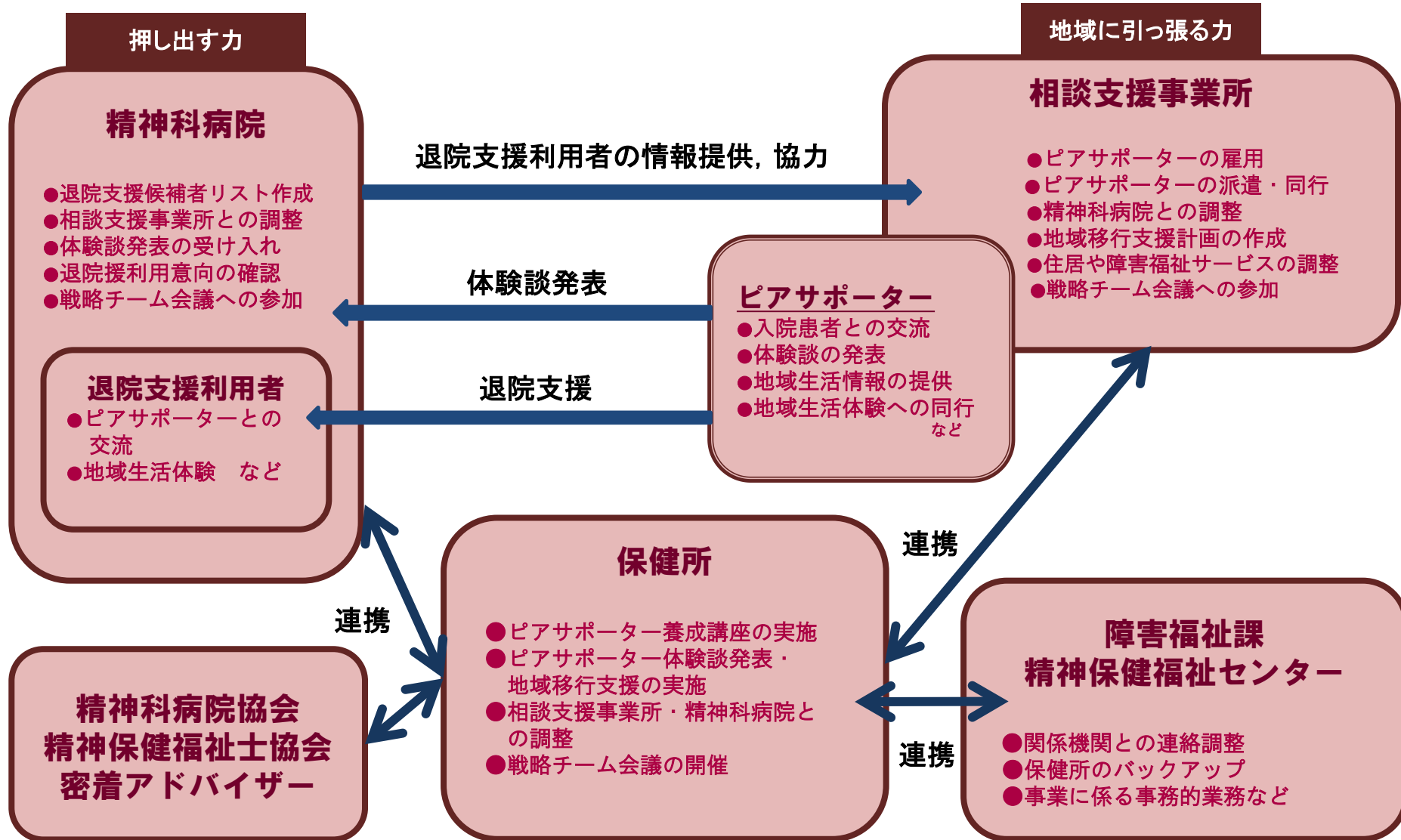
取組内容

- ・「精神障害者地域移行・地域定着推進研修会」の実施
- ・保健所単位で「精神障害者地域移行・地域定着推進会議」を開催し、地域課題や課題解決に向けた取組を検討
- ・ピアサポーター養成講座の開催
- ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援（精神科病院での体験発表、退院希望者への支援等）
- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R3年3月時点）	7	か所
市町村数（R3年3月時点）	43	市町村
人口（R3年4月時点）	1,581,032	人
精神科病院の数（R3年3月時点）	51	病院
精神科病床数（R3年3月時点）	9,354	床
入院精神障害者数 （R2年6月時点）	合計	8,275 人
	3か月未満（％：構成割合）	1,313 人 15.9%
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	1,508 人 18.2%
	1年以上（％：構成割合）	5,454 人 65.9%
	うち65歳未満 うち65歳以上	1,722 人 3,732 人
退院率（H29年6月時点）	入院後3か月時点	53.5%
	入院後6か月時点	73.0%
	入院後1年時点	83.5%
相談支援事業所数 （R3年2月時点）	基幹相談支援センター数	10 か所
	一般相談支援事業所数	64 か所
	特定相談支援事業所数	207 か所
保健所数（R3年3月時点）	14	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R2年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	2 回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R3年3月時点）	都道府県	有 1 か所
	障害保健福祉圏域	有 7 / 7 か所/障害圏域数
	市町村	有 39 / 43 か所/市町村数

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）
（H29～R1年度）



3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

1 研修会の実施

県の主催で、病院・相談支援事業所・行政等を対象にした研修会を実施

平成28年度：地域移行支援に係る講話，ピアサポーターによる活動報告

平成29年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告，地区ごとのグループ討議

平成30年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告

令和元年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告

令和2年度：WEBを活用し，ピアサポーターの当事者研究や活動報告等の研修動画の配信

2 ピアサポーターの養成・活用（H29～R1年度は精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業を活用）

精神障害者ピアサポーターを養成し，指定一般相談支援事業所で活用することにより，長期入院精神障害者の地域移行を推進

(1) ピアサポーターの養成

平成29年度（始良・伊佐圏域）：20名（うち，6名を相談支援事業所で活用）

平成30年度（鹿児島圏域）：56名（うち，7名を相談支援事業所で活用）

令和元年度（南薩・北薩・大隅圏域）：31名（うち，10名を相談支援事業所で活用）

(2) ピアサポーターの活用

平成29年度（始良・伊佐圏域）：精神科病院等での体験談発表 22回

平成30年度（鹿児島圏域）：精神科病院での体験談発表 12回

令和元年度（南薩・北薩・大隅圏域）：精神科病院での体験談発表 13回

令和2年度（始良・伊佐，南薩，曾於・肝属，徳之島で活用）

(3) 地域移行支援の推進

平成29年度（始良・伊佐圏域）：地域移行支援利用者数 9名（うち，退院 3名）

平成30年度（始良・伊佐，鹿児島圏域）：地域移行支援利用者数 29名（うち，退院 15名）

令和元年度（南薩・北薩・大隅圏域）：地域移行支援利用者数 37名（うち，退院 10名）

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<令和2年度までの成果・効果>

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R2年度当初)	実績値 (R2年度 6月末)	具体的な成果・効果
① 精神病床における1年以上長期入院患者数(人)	5,017	5,454	<p>県内の入院精神障害者の約40%が集中する鹿児島圏域において、地域移行支援の活用が図られた。</p> <p>また、長期入院患者については平成30年度末から令和2年6月末にかけて減少した。</p>
② 令和2年度末までに、全ての市町村ごとに保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置(カ所)	43	39	<p>精神科病院, 指定一般相談支援事業所, 市町村, ピアサポーター等により圏域の地域移行推進連携が図られた。</p> <p>市町村における協議の場の設置は、目標値である43市町村(全市町村)達していないため、早急に達成するよう働きかける。</p>

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- 1 圏域によって違いはあるが、保健所が開催している地域移行・地域定着推進会議と市町村自立支援協議会の精神部会、地域移行部会との連携や協同開催等に取り組んでいる。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない	・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援	行政	精神科病院等関係機関との調整 等
		精神科病院	ピアサポーターの受入, 退院希望者リストの情報提供, 協議の場への参加 等
		相談支援事業所	ピアサポーターの派遣・同行, 住居や障害福祉サービスの調整, 協議の場への参加 等
精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない	・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催, 協議内容の充実	行政	関係機関との調整, 地域課題の整理・分析 等
		精神科病院	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等
		相談支援事業所	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和2年度末)	見込んでいる成果・効果
①精神病床における1年以上長期入院患者数	5,454	5,017	
②地域移行支援(個別給付)の利用者数	29	52	県内5圏域での地域移行支援の普及
③市町村ごとの協議の場の設置	39	43	地域定着にかかる関係者による連携各圏域, 市町村単位の課題に対応した取り組みや体制作りの推進

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R3年中	障害者ピアサポート研修事業実施準備	・他県等の事例の収集や情報共有により、令和4年度からの障害者ピアサポート研修事業開始のための準備を行う。
R4年1～2月	精神障害者地域移行・地域定着推進会議の開催	・事業の成果・課題の報告、来年度以降の方針等を協議
未定	地域移行研修会の開催	・地域移行関係者の連携強化・資質向上のための研修会の実施
通年	各圏域における取組の推進	・障害福祉課から適宜情報提供や意見交換により取り組みを支援
通年	県の体制の検討	・県全体の体制について、市町村や関係団体等への聞き取りや調査を行い、方針を検討する